

最終更新日： 2024年2月29日

授業科目名 (講義題目)	リーダーシップ論			開講学期	前期
				曜日時限	火曜 II 限
				単位数	2
担当教員名	碓 邦生	講義コード	科目区分	対象学生	
		24176004	選択	1年生 / 2年生	
開講予定日	①4/9 ②4/16 ③4/23 ④5/7 ⑤5/14 ⑥5/21 ⑦5/28 ⑧6/4 ⑨6/11 ⑩6/18 ⑪6/25 ⑫7/2 ⑬7/9 ⑭7/16 ⑮7/23				
履修条件	特になし	キーワード	リーダーシップ論、チームワーク、マネジメント行動、組織行動論、産業組織心理学		
全体の教育目標	リーダーシップの基礎的な理論を学び、学んだ理論を職場で活用する応用力を身に着けることを目的とします。	個別の学習目業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップの理論を理解し、適切な用語の使い方ができるようになること</li> <li>・実務上の課題に対して、リーダーシップの理論を用いて解決策を考えること</li> </ul>		

授業の概要	<p>本講義の目的は、多様なリーダーシップの理論とメカニズムを学ぶ中で、受講生が自分なりの「リーダーシップの持論」を持つことです。</p> <p>リーダーシップほど、一般用語として広く使われながらも、どのような概念かと聞かれた時に明確な答えを持っている人が少ない経営学用語もないでしょう。また、明確な答えを持っていても、人によって解釈に違いがあり、バラツキも大きいです。実は、学術的にもリーダーシップについて統一的な解があるわけではありません。</p> <p>なぜこのような状況が起きるのかと言うと、リーダーシップは最適解がなく、場面や状況、求める成果に応じて変化するためです。加えて、リーダー本人の適性も関連してくるため、膨大なバリエーションが生まれてきます。</p> <p>そのため、実践者としてリーダーシップを学ぶときに重要なことは、自分なりのリーダーシップ論を持つことです。このことを、「リーダーシップの持論化」と言います。</p> <p>膨大な研究蓄積から生み出された理論を学び、自らの実務経験や共に学ぶ受講生の経験談と照らし合わせることで、自分独自のリーダーシップ論を見つけ出し、実務に応用する能力を身に着けます。</p> <p><b>【期末レポートについて】</b></p> <p>学期末にレポート課題の執筆と提出をしてもらいます。最終講義で提示される複数の状況文から2つを選び、状況文に記載された課題を解決するためにどのようなリーダーシップ理論を活用して、課題解決に取り組むのかについて論じます。</p> <p><b>【レポート執筆の要件】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リーダーシップについて論じる際、理論の説明だけではなく、自分が具体的にどのような行動をとるのかについて具体例を持って説明してください。</li> <li>2. 自分の主張 (Opinion) と体験 (Experiences)、事実 (Facts) を峻別し、事実について述べる際は、必ず根拠となる参考文献情報を記載してください。</li> <li>3. 授業の中で取り上げた概念または理論を必ず援用してください。</li> <li>4. Word形式で提出をお願いします。(※ Macをお使いの方はファイル形式にご注意ください)</li> <li>5. 分量は最長でA4サイズで2ページ以内です。フォントは和文「MS明朝」または英文「Times New Roman」、10.5ptとしてください。</li> </ol>				
授業の最新情報 案内方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州大学Moodle</li> <li>・その他 ( Teams )</li> </ul>				
授業形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義・演習</li> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・ディスカッション</li> <li>・その他 (Teams上での意見交換)</li> </ul>	使用する 教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライド資料 (電子媒体)</li> <li>・映像・音声資料</li> </ul>		

<b>授業の進め方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、知識を習得して専門知識を暗記するより、正解のない問いに対して学習した理論を活かしながら自分なりに考え、答えを導く思考力を鍛えることに重点を置いたプログラムとなっています。</li> <li>・各回の事前課題：九州大学Moodle上にアップロードされている課題に取り組んでもらいます。基本的には「簡単なクイズ」と「自由記述課題」の2つで構成されます。「自由記述課題」の中には、職場の同僚や友人などへの聞き取りなどの作業が求められることがあるため、余裕をもって取り組むようお気を付けてください。</li> <li>・各回の授業の初めに、事前課題を用いたグループ議論を行います。そのため、事前課題をせずに授業に臨むことがないよう、ご注意ください。</li> <li>・理論について解説しているときにも、適宜、受講生の様子を見ながら質問を投げかけたり、短い時間のディスカッションを織り交ぜていきます。短い時には1分以内で自分の考えをまとめる瞬発力が求められることもありますのでご注意ください。</li> <li>・授業の最後には事後課題もあります。しかし、集中講義のため、事後課題は必須ではありません。事後課題の提出があったときには評定に加算されますが、提出しなくても評定に影響はありません。</li> </ul>
<b>教科書及び参考図書</b>	<p>教科書の指定はありません。各回の講義では、Moodleにアップロードしている講義資料を用いて授業を行います。</p> <p>【参考文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川 淳（2022）リーダーシップの理論、中央経済社</li> <li>・Yukl, G., Gardner, W. (2019) Leadership in Organizations, 9/e, Pearson, UK. (英語が得意な方は是非チャレンジしてください。リーダーシップ研究の世界的な教科書です。)</li> </ul>
<b>試験・成績評価の方法等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前課題の提出（60％）</li> <li>・期末レポート（40％）</li> </ul>